

## 2 1 安全・安心な食生活と世界に誇る「京の食文化」を支える 京都市中央市場の再整備に対する財政支援

京都市中央市場は、日本初の最も伝統のある中央卸売市場として、昨年、開設90周年を迎えました。この間、公正な取引を通じ、生産者を守り、市民に安全・安心な食材を安定的に供給するとともに、我が国が誇る「京の食文化」を支えてまいりました。

これらの機能・役割を将来にわたり発揮するとともに、災害発生時における食料調達拠点としての機能の向上、農水産物の輸出力強化など、京都市中央市場の課題の解消と発展のため、本市と卸・仲卸・市場関係者が協力し、既に900回を超える侃々諤々の議論を行いながら、約40年ぶりとなる大規模な再整備（約600億円、約13年間）を進めているところです。

今般、卸売市場法の改正\*においても、市場機能の重要性に鑑み、卸売市場を食品流通の核として堅持することが再確認されています。

京都市中央市場がこれからもその役割をしっかりと果たすことができるよう、再整備に当たり、次のとおり求めます。

※平成30年5月23日現在、国会審議中

### 提案・要望事項

- (1) 中央卸売市場の整備に対する交付金の財源確保及び財政支援の充実
- (2) 物流の効率化や労働環境改善に資するシステム導入等に対する財政支援の充実

(農林水産省)

## 京都市中央市場の果たす役割【必要性・重要性】

- 食品流通の核として、公正な取引を通じ、生産者を守り、また、消費者に対して、安全・安心な生鮮食料品等を安定的に供給
- ユネスコの無形文化遺産に登録された「和食」や世界に誇る「京の食文化」を支え、次代に継承
- 「京野菜」・「京都肉」をはじめとする高品質な国産農畜水産物の輸出を促進
- 広域的な災害対応拠点として、災害発生時にも生鮮食料品等の安定供給を確保

## ○「京都市中央市場宣言」(平成 29 年 12 月)

京都市中央市場が、これからも生産者を守り、市民に自然の恵みを届ける生鮮食料品の中核的な流通拠点としての使命を果たすとともに、京都はもとより、我が国の食文化を将来にわたり力強く牽引していくことを宣言

## 京都市中央市場の再整備

総事業費約600億円  
平成40年度完成予定

### ○安全・安心な生鮮食料品等の安定供給に向けた取組の推進

- ・ コールドチェーンシステムの導入など、衛生・品質管理体制の確立
- ・ 産地との連携強化、円滑な物流動線の確保

### ○文化と健康を守る食生活・食習慣の普及促進

- ・ 若い世代を中心とした食文化・食習慣の普及啓発
- ・ 周辺地域の活性化への貢献と観光資源としての魅力創出

### ○競争力のある市場を目指した取組の推進

- ・ 京野菜のブランド化と販路開拓の促進、輸出の推進
- ・ 省エネ、蓄エネ設備の導入など、環境配慮に関する取組強化

### ○災害発生時における拠点機能の強化

- ・ 災害発生時にも安定稼働する非常用電源設備等の導入
- ・ 市場の設備・機材等を活用した市場周辺地域の復旧支援

【再整備のポイント】

## 要望

### ①中央卸売市場の整備に対する交付金の財源確保及び財政支援の充実

#### ○交付金の十分な財源確保

#### ○交付率の引上げ

- ・ 他の社会インフラ整備同等の交付率への引上げ（一律1/2以上へ）

#### ○交付対象の拡充

- ・ 防災機能強化、衛生・品質管理水準高度化、既存施設の解体、仮設建造物の建築等に対する支援

### ②物流の効率化や労働環境改善に資するシステム導入等に対する財政支援の充実

- ・ 物流効率改善に資するシステム・設備の導入等に対する支援
- ・ 卸売市場の労働環境改善や取引の適正化に資するシステム・設備の導入等に対する支援